

社団法人 日本助産師会
宮城県支部だより

第23号

平成21年10月吉日
発行 (社)日本助産師会宮城県支部
983-0045
仙台市宮城野区宮城野2丁目7-48-101
<http://midwife-miyagi.sakura.ne.jp>
siensenter@gmail.com



目次

1. ごあいさつ (社)日本助産師会宮城県支部
副支部長 後藤美子
2. 新役員のご紹介
勤務部長 高橋純子
開業部長 小野由起子
会計監査 坂詰昌子
3. 新会員のご紹介
■「泉区南光台で開業しました」
熊野ふみえ助産院 熊野 ふみえ氏
4. こんにちは!! 助産院さん
■「青葉区高野原です。ぜひお立ち寄り下さい」
森のおひさま助産院 小野 由起子氏
5. 編集後記

川島隆太先生講演会の
ご案内
12月5日 10:00~
ご案内をご覧ください

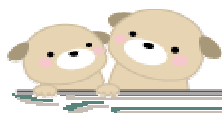
特別寄稿 仙台市山口之雪
本部会館寄付金についての
お願い
講演予定



9月26日東北・北海道ブロック研修会にて



福島県の現役助産師さん
お声も踊りも現役です



助産師教育新カリキュラムで

求められていること

秋冷の候 日本助産師会宮城県支部の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

平成21年度も上半期が終わろうとしております。新型インフルエンザ流行に不安を覚えつつのお仕事の毎日と存じます。

今年度より副支部長をお引き受けすることになりました。10年近く役員をさせていただいておりますが、会の詳細については十分に理解できておりません。新田支部長のもと、皆様の協力を得ながら、微力ですが活動の支援をさせていただければと考えております。よろしくお願いたします。

私は現在、助産師学校におりますので、現在の助産師教育の動向について情報提供したいと思います。

平成21年4月より保健師助産師看護師教育のカリキュラム改正がありました。助産師教育では実習が1単位増えただけですが、新人看護職員の臨床実践能力の低下等から以下のことが求められました。

1. 臨地実習の充実等(実習対象となる分娩の定義の明確化、産前産後に継続した事例の実習、分娩以外の支援能力の重視)
2. 各分野での教育内容の充実(チーム医療、他職種協働、医療安全等)
3. 助産師に必須の技術項目と卒業時到達度を明確化

助産師教育の基本的考え方は以下のようになりました。

1. 妊産じょく婦及び胎児・新生児の健康水準を診断し、妊娠・出産・産じょくが自然で安全に経過し、育児を**主体的**に行えるよう支援できる能力を養う。
2. 女性の一生における生と生殖をめぐる**健康に関する課題への支援**ができる能力を養う。
3. 安心して子どもを産み育てるために、**他職種と連携・協働しながら**、個人及び社会にとって必要な地域の社会資源の活用や調整を行える能力を養う。



太字下線部分が従来のカリキュラムの考え方から変わった部分です。

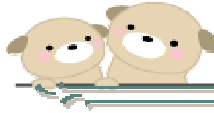
現在の母子・親子に関する問題や社会状況から、女性が結婚・出産・育児と主体的に行動できるようなサポートを求められているのだと思います。地域で活動している会員の皆様は、このことの必要性は実感しているのではないのでしょうか。また、女性の一生、ライフサイクルへの関わりは問題志向から課題達成へと予防的関わりが一層求められてきました。

「助産師教育で卒業時まで求められる技術」では「保健・医療・福祉関係者との連携」や「地域の特性と母子保健事業のアセスメント」能力が求められています。虐待や育児放棄など助産師のみでは解決できない母子や親子の問題が多くなっている昨今、地域で活躍している助産師は母子をサポートするために多くの職種と連携し、母子が快適、そして安心して子育てができるよう関わっていける能力が求められているのだと思います。助産師教育は「6カ月以上という年限」ですがより充実した教育が求められています。

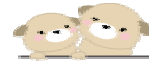
最新の話題は大学の助産師教育の年限が1年になるということです。今までは4年で保健師、助産師、看護師の3つの資格がとれましたが、この改正により、大学の助産師教育が充実し、レベルアップが期待できるのではないかと思います。

産科医療事情が厳しい現在、助産師には多くの期待が寄せられています。その期待に答えられるような実践力を身につけ、女性に寄り添える助産師を卒業させたいものです。





2. 新役員のご紹介



特別寄稿



勤務部長 高橋純子

今年度から、社団法人日本助産師会の勤務部長を勤めさせて頂いております。

宮城県内の勤務助産師は、セミオープンによる分娩の集約化、産科医師不足の中での院内助産への取り組みなど様々な環境の変化の中で、妊産婦さんが安全で安心な分娩ができるようにと、日々努力されていることと存じます。

微力ではありますが、皆様からの多様な御意見を頂き、勤務助産師が生き生きと職場で仕事ができ事ができるように、会長や役員の皆様の協力を得ながら努力していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



開業部長 小野由起子

こんにちは。
本年度四月より日本助産師会宮城県支部、開業部長をさせて頂いております、小野由起子と申します。昨年度は医療機関との連携の件で支部長をはじめ多くの方に骨を折っていただき無事連携が取れ、現在に至っております。開業部4人のメンバーと力を合せ、宮城県内で一人でも多くのお母さんやご家族のお役に立てますよう頑張ってお参りますので応援お願いいたします。



会計監査 坂詰昌子

このたび会計監査をさせて頂きたく坂詰昌子です。仙台医療センターに勤務しております。

いろいろとわからない事がありますが、皆様のアドバイスをいただきながら努めて行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。



カイロプラクティックと母子の健康の関係

(じつは予防医学なんです)

仙台市 山口 之雪



助産院カイロ Light Snow

仙台市青葉区台原5-7-1

健やか21カイロセンター内

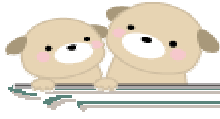
はじめまして、助産院カイロ Light Snowを、6月に開院いたしました山口と申します。5月に東北ろうさい病院を退職いたしました。妊産褥婦や子供、一般女性を対象としたカイロプラクティック施術を中心とした活動しております。私がカイロプラクティックと出会ったのは4年前、原因のわからない異常分娩・母乳を吸えない新生児・母乳不足などに悩んでいた時でした。いつかは勉強したいと思い、昨年1月から勉強始めて早1年8カ月、思い切って開業！！するまでになりました。カイロプラクティックとは、直訳すると手の技ということですが、国語辞典には、「骨盤や背骨のゆがみを徒手によって矯正する治療法・広義では手術や薬物による方法を除く運動・食餌・物理療法を含む治療法をさす」とあります。私が学んできたのはまさに国語辞典に載っている方法です。矯正により歪んだ骨を元に戻して神経の圧迫を解除し、自分で行うセルフケアの方法を指導していき、生理的湾曲をたもち神経に負担のない体にしていきます。(骨盤や背骨から神経は全身に広がっています)これがカイロプラクティックの真髄です。WHOも予防医学として位置付ける方法を助産師が学んでいったら、日本のお産や子育ても変わるのではないかと・・・と淡い期待を持ちつつ、地道に活動しています。一人でも二人でも健康な妊婦・産婦にできるように日々、勉強していきたいと思っております。興味のある方は、一緒に勉強しませんか！

写真は、健やか21カイロセンターの院長・遠藤紀久子氏(向かって左)と山口です。

3. 新会員さんご紹介

「泉区南光台で開業しました」

熊野ふみえ助産院 熊野ふみえ氏



新入会ご挨拶

会員の皆様には時下益々ご健勝のことと存じます。
宮城県支部助産師会の皆様、はじめまして。
この度、助産師会に入会させていただきました、「熊野ふみえ」と申します。
そして後期高齢者にお仲間入りする年齢と体力ですが、8月に一念発起し出張専門助産師として開業届けを提出いたしました。
施設を退職してぶらぶらしていましたが、ナースing助産院の笠松愛子様には経験や技術は豊富であるとのことご助言とご指導をいただき決意をした次第です。
私は昭和59年から太白区や泉区、および関西での病院勤務助産師として、母乳外来および訪問指導等を開設し、先駆的な助産師業務活動を行い、地域の方々と支えあう関係を退職日まで継続してまいりました。
日本の不景気が専門家でも予測しがたいこの時期の開業ではありますが、「苦は寒の種」と申します。助産師のスピリットを発揮し、ゆっくり1人1人の方々に具体的に、具体的に活動していき、また自分の健康に留意して、納得のいく人生を歩みたいと思っています。今後とも会員皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

熊野ふみえ助産院

〒 981-8001

泉区南光台東2-15-21

電話 022-252-5487

予約受付時間：7:00-20:00

休診日：火曜日 緊急、時間外対応可能



美空ひばり「真っ赤な太陽」
おじょうずです。事務局



みやぎ子育て・女性健康
支援センター講演予定
敬称略

- 10/8 築館高
- 10/9 石巻女子高
- 10/22 泉PTA 連合会
- 10/29 県立工業
- 10/31 ビジョンさん
救急待機班
- 11/10 ドミニコ高
- 11/11 仙台商
- 11/13 門脇中
- 11/17 ドミニコ高
- 11/17 宮城野中
～ 19 職場体験
- 11/25 多賀城校長会
- 11/27 利府西中
- 11/28 田子中
- 12/2 角田PTA 連合会
- 12/4 古川西中PTA
- 12/8 高清水中

見学希望の会員さん
は事務局までご連絡下さい。

本部会館寄付金の完納へ向けてご依頼

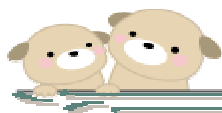
会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会に対しましてご理解ご協力頂きありがとうございます。

さて、複数回に渡り、本部会館寄付金のご依頼をさせて頂いております。今年度も多くの方にご協力を賜り本部に届けました。ですが、まだ59.5%の回収率に付、未回収残高が1,540,000円の状態で再三本部から依頼の書面が届いております。役員会で苦慮の結果、**以後未納の方に協力依頼の書面を個人通知でお届け致したいと存じます。**助産師活動の更なる発展のため、全国組織での活動は必須のものです。不景気風の中ではございますが、よろしくご理解頂き、入金頂けます様よろしくお願い申し上げます。なお、諸事情により、3万円のご寄付が難しい場合は、出来る範囲内で可能でございます。

最終的に22年12月31日完納予定と本部に届けております。それまでに不足分は宮城県支部の繰越金から支出せざるを得ない全国総会決議がさせていますことを付記致します。役員一同

4. こんにちは!! 助産院さん

- 「青葉区高野原です。ぜひお立ち寄り下さい」
森のおひさま助産院 小野 由起子氏



こんにちは。

森のおひさま助産院の小野由起子と申します。

2007年3月に仙台市青葉区高野原という住宅団地の中で開業いたしました。助産院の周りにはたくさんの木々や自然に囲まれていて、仕事をしていても小鳥の声に癒されます。訪れたお母様たちも気持ちよく過ごしていただきます。そんな田舎の高野原ですが、近くには県立こども病院があり、西道路を通ると繁華街にも近く、東北大学病院には20分ほどで行くことができます。住んでみると意外と便利ところで、得しちゃったかな! などと思っています。

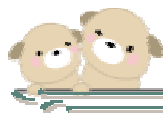
お母さんをはじめ、赤ちゃんやご家族皆さんが心地よく過ごしていただけるのは勿論ですが、助産院として母児の安全を守ることを第一に、お母様方の人格と権利を尊重しつつ真心と最善のケアにより安心と健康を提供できるよう日々努力しています。お母様方には、本来女性が持ち合わせている力と赤ちゃんに備わっている力を合わせて自然な産む力生まれる力が発揮できるようお手伝いさせていただきたいと考えています。

月に一度のスタッフ会議では日々の反省をしつつ医療技術の進歩や知識に遅れをとらぬよう勉強会などを重ねております。諸先輩方だけでなく、お母様方からもご指導を受け謙虚な気持ちでこの仕事を続けていきたいと思って



又、助産院を続けていく上で忘れてはならないのがサポートしていただくスタッフの力と家族の力です。スタッフは助産師・家事スタッフ合わせて10名ほど、家族は実母・夫・6歳の娘です。みんな働き者で助かっています。6歳の娘は私がとも子助産院にお手伝いに行っているころからちょこちょこ仕事についてきていました。今ではお母さんの声を聞き「そろそろ生まれるね」などと生意気なことも言います。同伴してきた上の子たちの面倒もよく見てくれ、すっかりスタッフの一員です。

こんなアットホームな助産院ですので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。小鳥たちと大歓迎いたします。



ご主人作の看板とのことです

編集後記

今回の機関紙はコンパクトにまとめてみました。字が小さくなりましたが、めがねをご活用の上お読み下さい。また、助産師会宮城県支部のIT革命も進んでおり、投稿して下さった方全員がパソコン入力済の状態が届けて下さいました。感謝して作業を進めた次第です。

今後とも会員相互の情報交換、親睦の場になればと願い、多くの皆様の投稿をお願いし、編集後記と致します。

田村雪子